



May.2016



佐賀県看護協会

〒849-0201
佐賀市久保田町徳万1997-1
TEL.0952-68-3299 FAX.0952-68-3603
URL <http://www.saga-nurse.org>
E-mail sagakgkk@coral.ocn.ne.jp



【表紙写真】
「川上峡のこいのぼり」

..... CONTENTS

- ② 会長あいさつ・功労者表彰
- ③ 佐賀県看護研究学会
- ④～⑤ 特集:病院託児所事情
- ⑥～⑦ こんにちは!事業部
- ⑧ 保健師職能集会・助産師職能集会
- ⑨ 看護師職能Ⅰ集会・看護師職能Ⅱ集会
- ⑩～⑯ 平成28年度通常総会関係
- ⑯ 平成28年度佐賀県看護協会教育計画
- ⑰ ハーモニーランド無料ご招待
- ⑱ 協会からのお知らせ
拠出金・理事会報告・編集後記

ごあいさつ

公益社団法人佐賀県看護協会

会長 三根哲子



佐賀県看護協会が、公益社団法人となって3年が経過し、昨年10月には運営状況確認のための県の監査がありました。幸い重大な指摘事項はなく、日頃の頑張りが評価されました。

西九州大学の(仮称)地域看護学部設置構想(平成30年度小城市に開設予定)では、4月1日付で準備室に看護教員が4人着任されました。後輩の明るい未来が具体的になりつつあります。みんなで応援いたしましょう。

今回は、6月の通常総会に向け、前年度決算報告・代議員選出・改選役員選出等、重要な情報です。特に、自己のキャリアアップや会費の有効活用・社会貢献についての視点でご覧いただき、総会でご意見をお寄せください。

看護協会の最大の使命である看護の質の向上には、一層の力を注ぎます。

加えて、超高齢社会で人々の生活と健康を支える役割が期待され、医療・看護のあり方が「病院・施設から地域・在宅へ」と大きく変化しています。日本看護協会では、平成28年度の重点政策・重点事業の第一番に、「地域包括ケアシステムの構築と推進・看護がつなぐ地域包括ケアの推進・長期療養者を支える看護の機能強化」を掲げています。

このことを受けて、佐賀県看護協会では佐賀事業所とかんざき事業所を統合して規模を拡大しました。さらに、理学療法士・作業療法士を採用し、ケアマネージャーを増員して、一層のサービス向上・拡大に努めています。

看護協会のWLBのワークショップ事業に3年間取り組んだ「佐賀記念病院」が「カンゴザウルス賞」を受賞されます。看護職がやりがいをもって元気に働き続けることが、社会の財産であることを自覚し、体力に合わせて自分らしく70歳まで働き続けられる職場環境(WLB)に関心を持ち、皆で力と知恵を出し合い、行動しましょう。

また、平成29年度から会員登録方法が変わります。同時に、会員カードの機能がアップし、マイページにはいろいろな書き込みが可能で、会員履歴の自己管理が大変便利になります。今後も協会ニュースにご注目ください。



おめでとうございます

第44回 医療功労賞表彰

前「佐賀県立病院好生館看護部長」、現「NPO法人託老よりあいひまわりの会代表理事」伊藤美智子様が長年地域医療に貢献されたことが認められ、平成28年2月10日に佐賀県健康福祉本部長室で第44回医療功労賞表彰(主催:読売新聞社)を受けられました。

伊藤様には看護協会活動にも大変なご協力を頂き、改めましてお祝いとお礼を申し上げます。今後も協会会員としてお導き下さいようお願い申し上げます。

第34回 佐賀県看護研究学会開催



3月12日(土)、佐賀市民会館において、約650人の参加で開催いたしました。応募演題は12施設から22演題、その後、修正再提出された10施設17演題(口演8題・示説9題)の発表でした。

口演発表では座長・演者・参加者の意見交換ができ有意義な場となりました。また示説会場も多くの方々に見て、聞いていただき活気が溢っていました。今年は、初の試みで、日本看護学会優秀発表賞を受賞した抄録も掲示しました。来年は、市民会館の閉館に伴い、ゆめぶらっと小城で開催です。あらたな場所であなたの看護実践や研究成果を発表してみませんか。



熊本地震における「災害支援ナース」の活動に参加しました！

平成28年(2016年)4月14日に発生した熊本地震における災害で被災された皆さんに、心よりお見舞い申し上げます。

4月17日から「災害支援レベル1」として熊本県看護協会が県内派遣を開始しました。その後、4月18日には「レベル2(近隣支援)」へ、4月21日には「レベル3(広域支援)」が決定され、九州地方以外の看護協会にも派遣の呼びかけがされました。

当協会の災害支援ナース登録者は27名ですが、13名の方を派遣候補者リストに登載させていただきました。第1陣として、4月26日から「藤川病院の副島佐紀子さん」、「河畔病院の楮山久美子さん」が、宇土市保健センターで活動されました。業務調整をして頂き、快く送り出してくださった各所属の皆様へ感謝いたします。



この度の熊本地震に際し、東洋羽毛工業株式会社(TUK)から、看護協会にシュラフ10個を頂きました。厚くお礼申し上げます。感謝の言葉とともに、シュラフの写真を掲載いたします。

特集

病院託児所 紹介

【山元記念病院】伊万里市

開設年	平成5年
託児所名	ルンルン
料 金	400円/日(年齢に関係なく) 半日預け200円/日
利用曜日	平日・土曜・祝日 日曜のみ休み
利用時間	7:45~18:00
食 事	弁当持参(おやつ有)
病児保育	なし

新託児所が5月の下旬に開園する予定です。



【ひらまつ病院】小城市

開設年	平成元年
託児所名	ひらまつ保育園
料 金	日額 日勤 550円 半日275円 準・深夜650円 夜勤 1300円 産休・育休中も預かり可能
利用曜日	月から日曜 *第4日曜、祝祭日のみ休み
利用時間	24時間
食 事	弁当持参か別途250円で弁当注文可能
病児保育	なし
特 徵	外来患者や見舞客のお子さん、お孫さんも預かり可能です。



【副島整形外科】武雄市

開設年	平成6年
託児所名	つくしんぼ
料 金	0歳児月額12,000円/月 1~6歳児以上月額10,000円/月
利用曜日	月から日 祝日のみ休み
利用時間	8:00~19:30
食 事	弁当持参(おやつ有)
病児保育	なし

家庭的な雰囲気で異なる年齢による触れ合いの中、年下の子供を大切にし、思いやりの心を育てています。



【肥前精神医療センター】神埼市

開設年	平成6年
託児所名	しらゆり保育園
料 金	0歳児月額41,300円/月 3歳児 35,800円/月
利用曜日	月から土曜日 日曜・祝日のみ休み
利用時間	7:15~18:45
食 事	給食あり(おやつ有)
病児保育	発熱37.5° 未満のみお預かり
特 徵	年間行事の充実(餅つき・バーベキュー等)



※掲載しています写真につきましては、本人および保護者の承諾を頂いております。



こんにちは！事業部

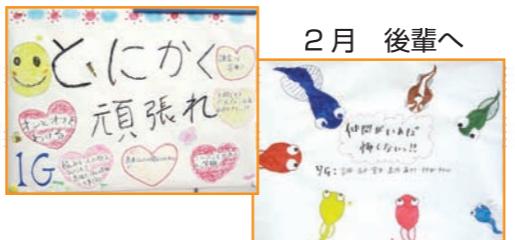
事業部の仕事は教育事業とナースセンター事業

新人看護職員研修多施設合同研修会

県の委託事業で始まったこの研修会も今年度は4回目になります。この研修を3年前に修了された方々はすっかり“先輩看護師”として活躍され、そろそろ中堅看護師として研修会に参加されるのはと期待しています。

平成27年度生の10月と2月の研修は、自己の振り返り、先輩になる自分や仲間に向けてエールを送るためのグループ学習でした。皆さん、それぞれ辛いこと悔しいことを経験されたようでしたが、一方では優しい先輩ナースに支えられたり、患者さんから感謝の言葉をもらったり、頼りにされている自分に気づいて頑張ろうとする自分を見出したりと、次年度に向けて一歩踏み出しました。これが会員さんの手元に届くころには先輩ナースです。頑張っていますか？

そして新人看護さんの支えになって下さい。



5月12日は「看護の日」 看護の心をみんなの心に

『看護の日』の制定経緯は、平成3年、市民・有識者の「看護の日の制定を願う会」の運動がきっかけで、近代看護の創始者と言われる、フローレンス・ナイチンゲール（1820～1910）の誕生日にちなみ、5月12日を看護の日、その前後1週間が看護週間として制定され、今年で26回目を迎えます。

21世紀の高齢社会を支えていくためには、看護の心、ケアの心、助け合いの心を私たち一人一人が分かち合うことが必要です。

こうした心を育むきっかけとなるよう、佐賀県看護協会でも、会員の皆さん方や広く一般の方に、より一層アピールするために、昨年に引き続き今年も横断幕を4月中旬から5月中旬までの1か月間掲げています。



看護師等の届出サイト とどけらん

2015年10月から、「看護師等の届出制度」が始まりました。
以下の方は届出（努力義務）の対象者となります。

- 1) 病院等を離職した場合
※「病院等」とは、病院、診療所、助産所、介護老人保健施設、指定訪問看護事業を行う事業所
- 2) 保健師、助産師、看護師、准看護師の業に従事しなくなった場合
- 3) 免許取得後、ただちに就業しない場合
対象者となられる方は、インターネットを通じて「看護師等の届出サイト」から届出を行ってください。または、ナースセンターにお問い合わせ下さい。



新人紹介



総務 野方香奈子

平成27年6月1日よりナースセンターで勤務しております、白浜です。

微力ではありますが、看護職の方々の就労や学習を支援し、求人施設の方々との橋渡しができるよう頑張りたいと思います。

色々とご迷惑をおかけすることと思いますが、よろしくお願ひいたします。

4月1日から事務局総務部で働かせていただくことになりました、野方です。

3年ぶりの仕事であり、しかも初めての法人会計ということで毎日戸惑うことばかりです。

職場の方々、会員の皆様にはご迷惑をおかけすることが多いと思いますが、一日でも早くお役にたてるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

佐賀県看護協会 訪問看護ステーションからのお知らせ

平成28年4月1日付けで、佐賀県看護協会訪問看護ステーション（佐賀事業所とかんざき事業所）を統合しました！

かんざき事業所はかんざき出張所として業務を継続しています。

この統合により、規模の拡大が図られ、より質の高い看護の提供に努めます。

馬場所長他、職員一同、心機一転頑張っていますので、これまで同様よろしくお願いいたします。



馬場所長



石丸技術監



井手副所長

訪問看護サポートセンターだより

平成27年1月から佐賀県看護協会訪問看護ステーションに併設された訪問看護サポートセンターは、訪問看護に従事する看護職員の人材育成、人材確保及び訪問看護サポート体制を整える目的で運営されています。

平成27年度の研修会は「在宅につなぐ効果的な退院支援と訪問看護の役割」「在宅ターミナル期の療養者を支える家族の理解」「在宅におけるストマケアのポイント」など5回開催し約600名の受講で好評でした。相談は、電話相談が約130件、来所相談が約20件で、内容は「訪問看護・在宅ケアに関すること」「看護小規模多機能型居宅介護視察・開設相談」「医療・教育・行政機関からの相談」などでした。また、実習研修は臨床看護師や医学部学生を受け入れました。

平成28年度も「訪問看護ステーションの経営管理」「緩和ケア」「スキンケア」などをテーマに研修の計画をしていますので、多くの方々の参加をお待ちしています。なお、今年度から訪問看護ステーション副所長の井手久仁子が「訪問看護サポートセンター長」として兼務いたします。

問い合わせ先 電話 0952-29-7633

平成27年度 保健師職能集会

保健師職能委員長 樋口奈美江

平成27年12月5日(土) 佐賀県看護研修センター 参加者:54名

様々な年代の困難事例への対応に役立てるため、人格形成に関する乳幼児期の養育環境や愛着問題を理解し、コミュニケーション能力を高めることを目的として、心理カウンセラーの宮地かおり氏を講師に迎え、「乳幼児期の発達課題と人格適応タイプ」についての講演会を開催しました。

宮地先生のカウンセリング法は問題解決型ではなく、本人が自らの行動を決定する手法で、感情は思考を左右し、思考は行動を左右するとして、相手の性格パターンに合わせてカウンセリングすることで行動変容を促すというもので、6つの性格パターンを6人の演者に演じさせ、その違いや対応をわかりやすく説明していただきました。



乳幼児期の発達課題として、人の性格は5歳頃までの色々な経験によって形成され、特に3~5歳の子どもは空想の世界で生きているため、頭ごなしの否定ではなく一旦感情を受け止めてから事実を伝えることで、自分(親)だけが満足するのではなく、相手(子)も満足する関係づくりにつながること、さらに無条件の愛情表現を必ずプラスすることが大切であることなど、愛着形成を促すコツを学ぶよい機会となりました。

平成27年度 助産師職能集会

助産師職能理事 佐賀大学医学部附属病院 中野 理佳

平成27年11月14日(土)看護センターにて平成27年度助産師職能集会を開催致しました。今年度は助産実践能力の向上を目的として、めぐみ助産院開業助産師であり、塔子鍼灸院鍼灸師である岩田塔子先生をお招きし、テーマを「開業助産師に聞いてみよう!安全・安楽な分娩に導くための妊娠中のケア」としました。

5施設34名の方に参加頂き、①安産を導くための生活、②安産のための食事、③会陰マッサージ等について、講義及び演習を行いました。アンケート結果においては、研修会が参考になったかについては、84.3%の方がとても参考になった、研修目的の達成については、ほぼ達成できた以上が96.8%、研修内容の自施設

での活用については一部活用できる以上が96.8%でした。「妊娠期の関りが産褥期の経過に影響することに驚いた」、「妊娠期の食事内容や筋肉ほぐし、三陰交が参考になった」、「実技もありわかりやすかった」、「すぐに実践できる内容であった」等ほとんどの方が今回の研修会は、今後の妊娠中のケアに参考になったという評価でした。

今回の研修は、改めて安全・安楽お産とそれにかかる私たち助産師の役割を考える機会になりました。



看護師職能Ⅰ(病院領域) 集会

看護師職能Ⅰ委員長 松岡 周子

平成27年12月19日(土)13:00~15:00 参加者:95名

今年度の集会の目的を「①地域包括ケアシステムにおける病院看護師の役割を知る」「②在宅療養支援に向けた他職種との連携について学ぶ」とし、佐賀県医療ソーシャルワーカー協会会长の大石美穂先生を講師に招きました。

先生には、「地域包括ケアシステムを推進するために~地域で患者を支える・いざ!NOW~」と言うテーマで、ソーシャルワーカーの立場から、地域包括ケアシステム構築のプロセス、佐賀県の現状と活動の実際について分かりやすくお話をいただきました。受講者からは、多職種連携や患者・家族の意向の違いを調整することの難しさ等の課題があがりました。また受講者の92%が「今後に活かせる内容であった」と回答し、さらに症例を通して退院調整や在宅療養支援について学びたいという意見がありました。



看護師職能Ⅱ集会(介護・福祉関係施設・在宅等領域)

看護師職能委員会Ⅱ委員長 小規模多機能型居宅介護事業所アサンテおぎ 水田 輝子

平成28年1月23日(土) 13:00~16:30 54名の参加がありました。看護師職能委員会Ⅱの活動報告として 1)高齢者ケアに係わる看護マネジメントの在り方に関する課題発見・意見交換を行う 2)介護施設等で働く看護職のネットワーク構築の活動方針を述べました。

講演のテーマを「高齢者ケア施設における看護マネジメントのあり方」とし、特別養護老人ホーム寿生苑施設長 朝野愛子先生を講師に招いて、高齢者介護施設で働く看護職員が多職種と協働しながら効果的にケアを提供するために必要なマネジメント方法や看護管理者の役割等を、経験を交えたより具体的な内容で参加者に沿った有意義講演でした。

その後の意見交換では、活発な発言がどのグループからもありました。アンケートの結果交流会が有意義であったが98%、問題を共有できた78%、今後の参考になったが78%でした。又、要望として、施設の看護職の交流会や研修を増やしてほしいや、社会の動きや制度についての勉強会をしてほしい等、在宅における看護師の専門性を追求する意欲を強く感じました。日本看護協会からでている「介護施設における看護職の為の系統的な研修プログラム」や、「介護施設等における看取り研修プログラム」に沿った研修を企画していきたいと考えています。

